

研究会レポート

防災研究会（北海道技術士センター）

防災研究会 第Ⅳ期（平成13～14年） 活動報告書「都市型防災」発刊

■ はじめに

北海道技術士センター 防災研究会では、この度第Ⅳ期 活動報告書「都市型防災」を発刊致しました。本報告書は、平成13～14年度の都市型防災をテーマとした防災研究会の活動内容を冊子として取りまとめたものです。

平成15年3月13日 防災研究会（会長 高宮則夫・副会長 松井義孝）では、この第Ⅳ期活動報告を兼ねた「防災研究セミナー」をホテル札幌ガーデンパレスにおいて開催しました。本セミナーには防災研究会会員を含めて約80名の多くの方々に参加していただきました。

冒頭、高宮則夫防災研究会会長より、研究セミナーの主旨説明の開会挨拶があり、引き続き、研究活動報告ならびに基調講演に入りました。

■ 研究活動報告

作成した活動報告書の冊子に従い、下記の5つの研究部会の代表者から平成13～14年の2カ年に渡る研究活動のプレゼンをしていただきました。

情報系部会（加治屋部会長・森幹事）

地盤系部会（高橋（輝）部会長・北幹事）

交通系部会（桑田部会長・木村幹事）

都市系部会（高橋（徹）部会長・立石幹事）

水工系部会（瀬川部会長・渡辺幹事）

各研究部会の活動報告は概ね次の内容です。

○情報系部会

札幌市防災・市民参加・雪対策などキーワードとした研究を中心に、最終的取り組みとしてWEBを用いたインターネットによる「防災アンケート調査」を実施しております。

アンケート集計結果から、

1. 防災認識
2. 情報収集手段
3. 冬期間の災害危機
4. 災害弱者問題

などに関する、今後の研究活動の発展的基礎となる貴重なデータを得ることができています。

○地盤系部会

「都市型防災」をテーマに、札幌市域を対象した複合的災害事象・連鎖性・環境変化などに関する研究を実施しています。その際特に、

1. 地震防災
2. 斜面防災
3. 地盤沈下
4. 土壌汚染

の問題を深く掘り下げ、対策手法としての一定の提案を示しています。

○交通系部会

都市型防災の対象を「豪雪」「雪害」として、災害と交通との関わり・リスクマネジメント・減災の面



写真-1 開会挨拶 高宮会長



写真-2 部会代表者の活動報告

から研究を進めております。主要なテーマは、

1. 札幌ドームの交通対策
2. 冬期間都市内道路防災
3. タクシーGPSによる豪雪時の交通実態
4. 鉄道の豪雪対策
5. 航空関係の豪雪対策
6. 防災施設事前評価の必要性
7. 豪雪リスクと市民との協働

などであり、その中で行政と市民の災害情報共有を必要性を示唆しています。

○都市系部会

第Ⅰ期報告書「技術士からの提言―地震災害に備えて」の総括を踏まえ、札幌市を起点とするリスク管理的発想による、以下の事項を主要テーマとした研究を展開しています。

1. 都市構造促進事業調査
2. 防災計画と防災支援システム
3. 雪対策基本計画

その結果、今期の研究活動の提言として、都市型防災対策のために、都市の構成員全てがその役割を認識する「協働」の必要性を提議しています。

○水工系部会

市民が創る「環境防災都市河川」の研究を推し進めています。その中で、有効な河川機能を確保するために、我が国の河川事業に対して「広がり」と「安らぎ」・「頼り」になる河川空間の再生・創設する提言をしています。

活動は多岐に渡り、河川の復活再生のため歴史的な研究や海外と対比した現地調査も実施しています。

最後に、事務局 富澤が2カ年に渡る第Ⅳ期防災研究会の活動報告を総括させていただきました。

報告書の活動内容は上述の通り多岐に渡り、部会員の日頃からの熱心な取り組みから充実した成果と考えます。ただし、全てが完成形でなく、今後さらに研究活動を進め、技術士が社会に果たす役割を念頭に、研究会の発展を目指すものであります。

■ 基調講演

活動報告に引き続き基調講演に入りました。基調講演は、「日本技術士会の防災対応」と題して、防災研究会 副会長 松井義孝氏から講演をしていただ

きました。基調講演の概要は、日本技術士会が現在までに取り組んできた防災対応の話題を中心に、大きくは以下の4項目ほどの内容でありました。

1. 技術士会防災専門家の積極的活用
2. 平常時における委員会活動
3. 緊急時マニュアル
4. 防災主要キーワード

地震危険・防災都市・復興プロセス・防災ボランティア・メンタルヘルス・IT 防災 etc

有事の際に、技術士がいかに専門的活動ができるか、日頃から議論し意識を高めおくことの重要性を示した貴重な講演でありました。



写真－3 基調講演 松井副会長

■ 情報交換会

セミナー終了後は、会場をかえて約50名の出席者による情報交換会が催されました。

来賓として、日本技術士会 防災特別委員会委員長 大島 久氏にご挨拶を賜りました。その後途中に多くの人のたちもの近況報告のマイクが回り、最後まで和やかでかつ有意義な交流会でありました。

■ おわりに

この号が皆さんの手元の届くころには、防災研究会も平成15年度総会をへて、第Ⅴ期の新たなスタートを切っていることと思います。今後も防災研究会では、研究成果の社会への有用な提言を目標に、防災に関する認識向上の視点から幅広く研究活動を進めていきたいと考えております。

最後に、防災研究会では、センター会員であることのみを入会条件に、自分の専門を生かすべく意欲のある方々を対象に、広く会員を公募しておりますので、宜しくお願い致します。

(文責：防災研究会幹事長 富澤 幸一)